令和 <mark>7</mark> 年度 **事務事業マネジメントシート** 

	2	令和	7	年度 事	務事業マ	ネジメント	トシート								作成	日 令和	7 年	7	月 1	日作	成			
					担当課 生涯学習課							)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度					
事	務事業名	社会	数音指	導員配置事業	担当G 社会教育グループ				t			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
1	27 7 714 1	133,33	201111	MyChile 1. AC						項			1	活動指標(実施状況)	単位	(実績)	(実績)	(実績)						
++	<i>ベノ</i> りっ° シャ	振 5	/ ##=	ち. カルト ご曲・	かで志あふれる	- 予算科目	1	10	4	1	Vm · J	┢			23	23	12	12	12					
	まちづくりプラン (基本目標)			ฅ・又1℃/心豆ノ 文化のまち	いて下めかれる	八つくりと伝	) <del>外</del> 行口	1	10	4	1		ア	高齢者学級数	学級	21	19	12	12	12				
( 垄	本口(示)	興	1131	X1Lのより								<b>-</b>						700	700					
(個	週 別 目 標 ) <mark>計 2</mark> 多様な志を育むまち ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃ ┃					主な費目報酬、報償費、旅費						イ 高齢者学級参加者数		人	700 501	700 459	700 408	700	700					
													_						(17.17)	/= I=	(17, 177)			
(	施 策 )	ー										ı	成果指標(成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)				
`	加					対象	社会教育指導員				Ľ		1 1-2-	(実績)	() -10									
( 並	本目標)	総。	<b>紅加</b>	結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる								7	高齢者学級参加延人数		4,000	4,000	4,000	4,000	4,000					
( 4		合	小口グ日	四座 1月~	秋月 V / 川 主 で								Ĺ	同断日于败参加延八数		1,903	2, 213	2, 286						
(	施 策 )	戦 5	~ ~	フギーマップ料	去米准プロジ	. <i>h</i> l	事業期間	R	17	年度~	~		Τ											
(	ル ァ )	略 5	′	りさしたツノ教	、月推進ノロンコ	プロジェクト		R	7	年度	( 1	年間)	1											
(4)	ر ده <del>خاند خان</del>	U. +h	224 144	4年度	5年度	6年度	7年度		8年月	隻	Ĝ	年度	7.	\			::r ArAr		⇒π: /π*					
(1)	総事業費の	<b>性移</b>	単位	(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画·予1)	算) (	計画·	予算)	(計画	ョ・予算)	(4	)評価	所管課による評価									
年	財国県支出	H.	千円										Г											
間事	源るの他特	字 財酒	千円										1	40.										
■ト  業	表 一般財源		千円	6, 692	6, 743	6, 965	7, 86	33	7	, 863			有	・市民のニーズ	九. 스 크	社会教育主事を補佐し、社会教育の特定分野についての								
<b>■</b> -   費	事業費計	(A)	千円	6, 692	6, 743	6, 965	7, 86			, 863			効	・事業の効果 ・政策との整合性										
ルス	所要人員(		人	0.025	0. 025	0, 025	0. 02			. 025			性	・事業を廃止の影響	直接指導、学習相談又は社会教育関係団体の育成等を行 ものであり、社会教育の推進・充実、市民の学習活動の									
コ件	人件費概算			140	140	140		10	0.	140			評	・類似事業との連携	進が図り		747 11 1/1	LXE 70.	X 111 IX	·> 1 日 III	25/1。2.1圧			
ス費	(A) +			6,832	6, 883	7, 105	8, 00	_		, 003			仙	・公平性		-,								
下 (0) 理	(A) + <b>工業概要</b>	(B)	千円	6,832	0, 883	7, 105	8,00	)3	8,	, 003			4											
事業目的 事	社会教育 成・指導等			し、社会教育の	)特定分野につい	ハての直接指導	<b>掌</b> 、学習相認	を又は	社会教	育関係	系団体	:の育	効率性評	<ul><li>事業効果向上</li><li>事業費削減</li><li>事務の効率化</li><li>費用対効果</li></ul>	て、研修る。	者学級や家庭教育学級等の募集・企画・運営につい 修内容を工夫しながら、参加者の増加を図ってい 、3人の社会教育指導員の配置に伴う経費や講師謝								
業内容	• 学習相談			育学級等の募集 育関係団体の育									価	・財政負担の必要性 ・関係者との連携	金に係る経費であり、削減は難しい。									
必要性 料 経 経 緯	生涯学習 や社会教育				の配置しており、 可民の学習活動の			力言に	より、	高齢者	<b>針学級</b>	の開催	達成度	<ul><li>数値目標</li><li>目指す状況</li><li>実現性</li></ul>	高齢者学級については、高齢化・過疎化等により参加者 が減少傾向にあるが、研修内容の充実や事業周知により新 たな形式での学級も開設に向けて取り組めている。									
実施状況	3人の社会教育指導員を配置し、高齢者学級や家庭教育学級等の企画・運営等公民館主事と連携し社会教育の推進を行っている。										(評価	・情勢、環境の変化 ・事業期間	今後に	れどの学校も開設に向けて取り組めている。 についても、引き続き研修内容の工夫しながら、参 保を図る必要がある。					ら、参					
成果	THE STATE OF THE PARTY OF THE P									・指導	改革改	拡充	現状維持	寺	改善	0	効率化		廃止終了					
課題	MANUEL MENTION OF STREET MANUEL MANUE									以善 案														

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 4年度 5年度 | 6年度 | 7年度 | 8年度 担当課 生涯学習課 9年度 事務事業名 社会教育グループ 家庭教育学級開設事業 担当G (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) 活動指標 (実施状況) 単位 備考 (実績) 会計 款 項 目 (実績) (実績) まちづくりプラン 振 5 <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと 予算科目 1 10 39 39 39 4 1 39 39 開設学級数 学級 (基本目標) 伝統・文化のまち 29 33 33 2,300 2,300 2,300 2,300 2,300 (個別目標) 2 多様な志を育むまち 主な費目 報償費、委託料 家庭教育学級生 人 1.141 1, 552 1.629 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) 系 2 社会教育の充実 ( 施 策 成果指標 (成果・効果) 単位 (実績) (実績) (実績) 対象 家庭教育学級 90 90 81 82 90 |総<mark>|3</mark>|結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる (基本目標) 家庭教育学級参加率 64 56 56 年度~ ( 施 策 事業期間 こころざしアップ教育推進プロジェクト R 7 年度(1年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 (1) 総事業費の推移 単位 (4)評価 所管課による評価 (実績・決算) | (実績・決算) | (実績・決算) | (計画・予算) | (計画・予算) | (計画・予算) 財 国県支出金 千円 その他特定財源 千円 業内 書訳 一般財源 市民のニーズ 保護者や地域から子育てに関する意見・要望等が多く寄 千円 1,000 1, 120 1, 120 1, 240 1, 240 事業の効果 せられており、また、近年、情報モラル教育等、様々な課 事業費計 千円 1,000 1, 120 1, 120 1,240 1, 240 (A) 政策との整合性 題も生じていることから、身近な保育所(認定こども園を 0.025 0.0250.0250.025 0.025所要人員(年間) V ・ 事業を廃止の影響 含む)、幼稚園、小学校、中学校に家庭教育学級を開設 サ 人件費概算 (B) 千円 140 140 140 140 140 ・ 類似事業との連携 し、全ての教育の原点である家庭教育の充実を図る必要が 人件費単価 千円 5,600 5,600 5,600 5,600 5,600 公平性 ある。 (A) + (B)千円 1, 140 1, 260 1, 260 1, 380 1,380 (2)事業概要 家庭教育は全ての教育の原点であり、親と子が日常的な生活を送る中で、基本的な生活習慣や善悪の判断 等を身に付け、思いやりの心や感動する心などをもつ、心豊かな子どもの育成を目指して保護者が共に学習 • 事業効果向上 保育所(認定こども園を含む)、幼稚園、小学校、中学 Ħ • 事業費削減 する。 校と連携しながら、内容の充実を図る必要がある。 的 事務の効率化 また、経費については講師謝金や消耗品等の経費に充て • 費用対効果 事 • 事業説明 られており、削減は難しい。 財政負担の必要性 · 年間学習計画書受理 · 審查 ・関係者との連携 • 委託契約締結、委託料支払 · 実績報告書受理 · 審查 容 家庭教育は社会教育の原点であり、基本的な倫理観や社会的なマナーなどを育成するうえで重要な役割を 果たすものであるため。 • 数值目標 家庭が全ての教育の原点であるという認識と関心をもっ 目指す状況 てもらうため、全ての市内保育所(認定子ども園を含む) 実現性 での開設を目標に、福祉課と連携しながら、開設を推進し 家庭教育学級を保育所(認定こども園を含む)、幼稚園、小学校、中学校の29学級を開設。それぞれの学 評 ・情勢、環境の変化 ていく。 級が、様々な工夫をしながら事業を実施しており、平均8回程度の活動となっている。学習内容は人権教 事業期間 育、心肺蘇生・AED講習、子育て学習、食育などの各種学習会、ニュースポーツ体験、レクリエーション 況 活動や携帯スマートフォン等の情報モラル教育など多彩なプログラムが実施されている。 ○ 現状維持 拡充 改善 効率化 廃止終了 各学級では、家庭教育の充実を図るための様々な事業が実施され、人権教育、食育や情報モラル教育など 課題解決の学習活動のへ指導助言を行ったほか、「志アップ 子育て手帳」の活用により、学級生の資質向 🚜 果 上が図られた。 家庭が全ての教育の原点であるという認識と関心をもってもらうため、市内16保育所(認定子ども園を含 素 頴 む)での開設を目標に、福祉課と連携しながら、引き続き家庭教育の推進を行っていく。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3) 指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 公民館管理運営事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 4 2 9 9 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 ア条例公民館数 箇所 (基本目標) 統・文化のまち 9 9 9 多様な志を育むまち 主な費目 報酬、旅費、需用費、委託料 (個別目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 玄 2 社会教育の充実 成果指標 (成果・効果) 単位 (実績) (実績) (実績) 対象 条例公民館 70,000 70,000 70,000 70,000 70,000 ア施設利用者延人数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 44, 151 54, 152 49, 148 年度~ 20,000 20,000 20,000 20,000 R 7 20,000 こころざしアップ教育推進プロジェクト (施策 事業期間 イ 生涯学習講座参加人数 年度(1年間) 12,098 R 7 13, 430 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (1) 総事業費の推移 (4)評価 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 業 内... 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 千円 52, 598 32, 449 21,074 30,000 21,074 事業の効果 条例公民館は、地域住民のコミュニケーション及び生涯 52, 598 事業費計 千円 32, 449 21,074 30,000 21,074 (A) 政策との整合性 学習の場として活用されており、引き続き利用者が利用し 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0,200 0, 200 0.200 0, 200 0.200 やすい施設の維持管理に努める必要がある。 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 1,120 1, 120 1, 120 1, 120 1, 120 公平性 (A) + (B) 千円 33 569 53 718 22 194 31, 120 22, 194 (2)事業概要 業 市内9条例公民館に公民館主事を配置し、施設の利用調整や維持管理、生涯学習講座等の企画・運営を行 事業効果向上 目 い、市民のが利用しやすい環境を整え、生涯学習の中心施設として利用促進を図る。 生涯学習講座の運営・企画等、内容を工夫しながら、参 · 事業費削減 的 事務の効率化 加者の増加を図っている。 また、9人の公民館主事の配置に伴う経費や施設の維持 · 費用対効果 事 利用調整や施設の維持管理 管理に係る経費であり、削減は難しい。 財政負担の必要性 業 ・ 生涯学習講座等の企画・運営 ・関係者との連携 ・施設修繕、保守点検業務 等 容 社会教育法第21条第1項に基づき社会教育推進の中心施設として整備されており、地域住民のコミュニ • 数値目標 ケーション及び生涯学習の場となっている。 目指す状況 適正な施設の維持管理を行うととも、生涯学習講座等の • 実現性 充実を図りながら、利用者の利便性を向上による、利用者 実 評・情勢、環境の変化 数の増加を目指す。 施 市内9条例公民館に公民館主事を配置し、施設の利用調整や維持管理、生涯学習講座等の企画・運営を行 価・事業期間 状 い、市民のが利用しやすい環境を整え、生涯学習の中心施設として利用促進が図られた。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 条例公民館については、市民が利用しやすい施設として、地域住民のコミュニケーション及び生涯学習の 場となっている。様々な活動に加え、高齢者学級や生涯学習講座も開設し、社会教育の推進が図られた。 利用者のニーズに合わせた利便性向上に係る取組を検討しながら、施設の適正な 至 維持管理に努める。 施設や空調機等の設備の老朽化が進んでいることから、公共施設管理計画に基づいた施設や設備の整備・ 題 更新などを年次的に進める必要がある。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 社会教育グループ 農村研修センター管理事業 担当G (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 4 2 4 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 4 4 4 ア農村研修センター数 箇所 (基本目標) 統・文化のまち 4 4 4 多様な志を育むまち (個別目標) 主な費目 委託料、役務費 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 玄 2 社会教育の充実 成果指標 (成果・効果) 単位 (実績) (実績) (実績) 対象 農村研修センター 7,000 7,000 5,000 5,000 7,000 ア施設利用者延人数 (基本目標) 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる 5, 493 6, 795 6, 344 年度~ R7 (施策 1 快適な生活支援プロジェクト 事業期間 年度(1年間) R7 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 業 内... 市民のニーズ これまで地域の中心となる施設として活用されている | 本| 訳 | 一般財源 千円 1,956 2,563 2,803 2,544 2,400 事業の効果 が、利用者の利便性の向上や役割分担の明確化等の課題が 事業費計 2, 563 千円 1,956 2,803 2,544 2,400 (A) 政策との整合性 生じていたことから、地域の校区公民館長から、指定管理 事業を廃止の影響 者制度について意見を伺っており、地域の活力を積極的に 人 所要人員(年間) 0.050 0,050 0.050 0.050 0,050 人 類似事業との連携 活用することが適当と考えられることから、変更すること 千円 280 280 280 280 280 公平性 となった。 (A) + (B) 千円 2, 236 2,843 3 083 2,824 2 680 (2)事業概要 業 研修、集会等を通じて農村地域住民の社会的連帯感を高め、魅力ある生活環境の形成及び地域づくりに寄 事業効果向上 指定管理者制度への変更により、、利便性の向上や役割 目 与するため設置している。 · 事業費削減 の明確化、また、簡易な修繕であれば管理者でできるよう 的 事務の効率化 になることから、地域活力の積極的な活用が図れる。 · 費用対効果 事 なお、指定管理料については、施設の維持管理に係る経 指定管理に係る基本協定、年度協定締結 財政負担の必要性 業 費であり削減は難しい。 • 利用状況報告 ・関係者との連携 内 ・協定を超える施設修繕 等 容 ・田之浦ふるさと交流館-平成17年 ・森山地区生活改善研修センター-昭和50年 必要性 ・潤ケ野地区営農研修センター-昭和53年 ・八野地区農業構造改善センター-平成3年 • 数値目標 内之倉農村広場—平成元年 これまでも地域の中心となる施設として活用されている 目指す状況 に整備され、令和3年度より運営形態をこれまでの直営方式から指定管理者制度に変更する。 が、運営形態を指定管理者制度へ変更することにより、利 実現性 便性の向上や役割の明確化、また、簡易な修繕であれば管 実 情勢、環境の変化 理者側で可能であるため迅速な対応が可能となる。 施 これまで校区公民館活動の話し合い活動等の施設として使用されるとともに、災害時の避難所等に指定さ 価・事業期間 状 れている施設もあり、地域の中心となる施設として活用されている。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 これまで地域の中心となる施設として活用されているが、今回の指定管理者制度への変更により、利用者 の利便性の向上や役割分担の明確化、これまで以上に施設の有効活用が図られる。 施設や空調機等の設備の老朽化が進んでいることから、公共施設管理計画に基づいた施設や設備の整備・ 題 更新などを年次的に進める必要がある。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 担当課 事務事業名 社会教育グループ 青少年研修支援事業 担当G (目標) (目標) (日標) (月標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 4 3 35 30 30 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 研修応募者数(小・中・ 25 35 (基本目標) 統・文化のまち 高校生) 54 59 33 多様な志を育むまち 主な費目 旅費、負担金補助及び交付金 (個別目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 玄 2 社会教育の充実 成果指標 (成果・効果) 単位 (実績) (実績) (実績) 対象 青少年 30 研修参加者数(小・中・ 19 35 35 30 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる。 高校生) 26 34 24 年度~ リーダー研修やジュニア 5 5 5 5 R7 5 こころざしアップ教育推進プロジェクト (施策 事業期間 1 リーダー活動等への参加 年度(1年間) R7 2 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 民間等が行う海外研修は、自己負担が大きい。事業に参 業 内... 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 加した学校、保護者等からは青少年育成に効果的である事 千円 988 4, 395 5,080 5, 358 6, 100 事業の効果 業なので継続すべきとの意見がある。 5,080 事業費計 千円 988 4, 395 5, 358 6, 100 政策との整合性 (A) 海外や国内でのホームステイの経験によって、幅広い視 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0.700 0,700 0.700 0.700 0.700 人 野と国際感覚、生活習慣・文化の違いを学ぶことができ、 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 3,920 3.920 3.920 3,920 3, 920 かつ語学力の向上が期待できること、また地域のリーダー 公平性 (A) + (B) 千円 4 908 8, 315 9 000 9, 278 10 020 となる広い視野を持つ青少年育成を図る。 (2)事業概要 業 青少年を国外に派遣し、異文化、異言語を体験させ、自己の確立と地域のリーダーを育成を図る。また、 事業効果向上 目 国内においても外国語とふれあい、興味をを持つことで異文化への学びの意欲を育む。 • 事業費削減 国際交流、国際感覚と語学力向上、生活習慣・文化の違 的 事務の効率化 ハを学ぶ異文化理解の場の提供として、募集、計画、事前 研修等に関して行政の支援が必要でああり、補助金につい · 費用対効果 事 補助金交付事務 ・財政負担の必要性 ては、研修費用に係る経費であり削減は難しい。 業 ・各会議等の連絡調整、資料作成や助言、活動支援等 ・関係者との連携 ・国内研修事業の企画、運営 容 平成6年度から様々な研修事業に取り組んできており、現在ではアメリカ合衆国の海外研修とイングリッ • 数値目標 シュキャンプ(国内研修)としている。 目指す状況 参加者募集・周知を図りながら、多くの児童・生徒に異 度 実現性 文化、異言語を体験させ、多文化共生社会を生きる世代の 実 情勢、環境の変化 自己の確立と地域のリーダーを育成を図る必要がある。 施 中学生、高校生対象のアメリカ合衆国への海外研修、小中学生対象のイングリッシュキャンプを実施して 価・事業期間 状 おり、多くの参加希望があることから、作文、而接等により選考している。 況 ○ 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了 令和2年度から3年間海外研修が新型コロナウイルス感染症感染予防のため事業を中止したが、令和4年 度は代替事業として2泊3日のイングリッシュキャンプを行い、対象者の学ぶ意欲の向上が図れた。令和5 年度は4年ぶりに国外研修事業が再開した。 ъ <mark>国外研修については、これまでの英語圏に加え、アジア各国を対象とした事業にも</mark> **養 視野を広げることが必要である。 室**国内研修については、イングリッシュキャンプの参加者を小学生まで拡充して行 国外研修の研修先であるアメリカ合衆国の経済状況と円安により事業費の高騰が続いている。事業の趣 う。山形研修については事業廃止とする。 題 **旨、目的の達成が研修先を変更しても可能であれば、様々な選択肢を視野に検討を始める必要がある。** 

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成 (3) 指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 担当課 9年度 ジュニアリーダー・インリーダークラブ(TACOクラ 事務事業名 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (月標) (目標) (目標) (日標) ブ) 支援事業 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 4 3 30 30 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 30 30 30 アクラブ会員数 (基本目標) 統・文化のまち 25 23 15 15 12 12 多様な志を育むまち 主な費目 負担金補助及び交付金 (個別目標) イ 活動回数 (年間) 口 8 15 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 玄 2 社会教育の充実 単位 成果指標 (成果・効果) (実績) (実績) (実績) ジュニアリーダー・インリー 対象 ダークラブ会員 200 300 200 300 300 ア参加した延べ人数 (基本目標) 3 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる。 117 176 令和3 年度~ 30 30 30 30 リーダーとしての青任や 30 (施策 こころざしアップ教育推進プロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 自覚が持てた会員数 21 23 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源との他特定財源 千円 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 千円 222 295 666 666 666 ボランティア活動や体験活動、研修への参加を積極的に 事業の効果 事業費計 (A) 222 666 千円 295 666 666 ・政策との整合性 希望する児童・生徒・保護者もおり、活動・研修内容の見 直しや募集方法を検討しながら、クラブ員の確保を図って 人 所要人員(年間) 0,200 0, 200 0,200 0, 200 0,200 事業を廃止の影響 類似事業との連携 いる。 1, 120 1, 120 1,120 1, 120 1, 120 公平性 (A) + (B) 千円 1, 415 1, 342 1,786 1 786 1 786 (2)事業概要 ジュニアリーダー・インリーダークラブを統合したクラブを設立し、ボランティア活動や自然体験研修な 事業効果向上 目 ど異年齢集団での交流を通して、地域リーダーを育成を図る。 • 事業費削減 これまで活動や研修内容が類似していたジュニアリー 的 事務の効率化 ダー・インリーダークラブを統合することにより、異年齢 交流や研修内容の充実により、地域リーダーの育成を図る · 費用対効果 事 補助金交付事務 財政負担の必要性 必要がある。 業 各会議等の連絡調整、資料作成や助言、活動支援等 ・関係者との連携 ・自然体験活動・研修、ボランティア活動、異年齢交流等 事業企画運営 容 令和3年度からジュニアリーダー・インリーダークラブを統合したクラブを設立した。地域を牽引する若 年層のリーダーを育成するため、これまで高校生クラブをジュニアリーダークラブに統一する等、実情に応 幸 • 数値目標 ボランティア意識の低下や部活動や学業等の優先など、 じて変更してきた。 目指す状況 学校や保護者などの理解や協力を得ながら、活動・研修内 • 実現性 容の見直しや募集方法を検討しながら、クラブ員の確保を ・情勢、環境の変化 ジュニアリーダー・インリーダークラブがそれぞれ活動していたが、活動や研修内容が類似していること 図る。 施 事業期間 から、令和2年度から合同での開催とした。小学生から高校生までの異年齢の活動であったが、それぞれの 狀 役割を理解し、充実した活動が展開されている。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 ジュニアリーダー・インリーダークラブの合同での開催により異年齢交流や研修内容の充実し、地域リー ダー育成が図られた。 地域のリーダーを育成するため、活動内容を常に見直し、更なる活動の充実を図る必要がある。 題

作成日 令和 7 年 月 1 日作成 7 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 志布志市文化会館管理運営事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 7 10 4 310 310 310 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 310 ア開館日数  $\exists$ (基本目標) 統・文化のまち 307 311 310 指定管理料、修繕料、建物共 主な費目 (個別目標) 多様な志を育むまち 済保険料、旅費 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 1,500 1,500 1,500 ア施設の利用回数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 口 1, 312 1,296 1, 136 年度~ 48,600 48,600 48,600 H28 48,600 こころざしアップ教育推進プロジェクト イ利用者数 (施策 事業期間 年度 ( 年間) 47, 484 43, 157 42, 589 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 施設の老朽化により施設・設備の不備が発生しており、計画的な 業内. 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 千円 改修工事を実施することで利用者の利便性及び安全性の向上が図 24, 532 25, 570 26, 230 26,612 26,611 事業の効果 られる。 事業費計 千円 24, 532 25, 570 26, 230 26, 612 26,611 政策との整合性 (A) 市の文化振興の中核施設であり、利用者数も多いことから、廃 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0.100 0.100 0.100 0.100 人 止・休止は困難である。 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 560 560 560 560 0 類似施設として松山地区にやっちくふれあいセンターがあるが、 公平性 施設規模、周辺環境が異なるため、統廃合は困難である。 (A) + (B) 千円 25 092 26, 130 26 790 27, 172 26, 611 (2)事業概要 |文化施設の管理業務を民間団体に委託・管理させることにより、民間のノウハウを活用しつつ、より一層の 事業効果向上 光熱水費等の管理費については、指定管理者の運営方法に 目 市民サービスの向上と経費の節減を図る。 • 事業費削減 より経費削減が図られている。その他の経費(人件費、委 的 事務の効率化 託料、修繕費)は、削減の余地がない。 · 費用対効果 事 指定管理に伴う委託業務のため、人件費及び業務時間の削 文化会館の文化ホール・集会室等については、その設置目的に基づき、効率的、効果的に管理・運営を行う 財政負担の必要性 業 減の余地はない。 | 必要がある。それらの管理運営業務を指定管理者に委任する。但し、自主文化事業の企画・実施、舞台関係 ・関係者との連携 の操作管理業務は除く。 容 |施設の管理は、平成18年8月まで、志布志市公共施設等管理公社へ管理委託していたが、地方自治法の改正 • 数値目標 に伴う管理委託制度の廃止により平成18年9月から指定管理者制度へ移行した。 成・目指す状況 度 実現性 市民の方々が安心して使用できる状態を継続できている。 評・情勢、環境の変化 コミュニティセンター志布志市文化会館 施 価・事業期間 指定管理料 26,611,500円 (令和7年度) 状 指定管理者 特定非営利活動法人志布志生涯学習センター 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |指定管理者制度の導入により、事務の簡略化、時間外での対応、迅速な施設修繕等を行うことで、文化施設 利用者の利便性、安全性が向上している。 |施設の老朽化が進んでおり、年次的な改修(リニューアル工事)計画及び実施について、公共施設の個別管 理計画により進めていく必要がある。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 舞台吊物音響照明操作等委託事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 7 10 4 500 500 500 500 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 3施設の舞台 (ホール) 500 口 (基本目標) 統・文化のまち 利用冋数 469 509 500 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果·効果) 単位 1 生涯学習の推進 3施設(文化会館、ふれセ (実績) (実績) (実績) 対象 ン、有明地区公民館)の利用 1,500 1,500 1,500 1,500 ア施設の利用回数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 口 1, 312 1,296 1, 121 年度~ 48,000 48,000 48,000 48,600 こころざしアップ教育推進プロジェクト イ利用者数 (施策 事業期間 年度 ( 年間) 47, 484 43, 169 42, 589 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (1) 総事業費の推移 (4)評価 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源との他特定財源 専門的な知識・資格を有し実績のある業者は市内には他に 千円 市民のニーズ なく、設備管理、舞台運営を円滑に実施しているため、向 書 訳 一般財源 千円 8, 496 9, 179 9,900 9,900 9,900 事業の効果 上の余地はない。 事業費計 千円 8,496 9, 179 9.900 9,900 9.900 (A) 施設の運営には不可欠な業務であるため、廃止はできな 政策との整合性 人 所要人員(年間) 0.050 0.050 0.050 0.050 事業を廃止の影響 類似事業との連携 受注業者は市内に一者しかないため、随意契約となってい ス 費 人件費概算 (B) 280 280 280 280 0 公平性 る。仮に市外の業者に委託した場合、契約金額が高額にな (A) + (B) 千円 8, 776 9 459 10 180 10, 180 9 900 る可能性が高い。 (2)事業概要 舞台吊物音響照明操作等の専門業務を委託することにより、安全かつ適正な操作及び施設の管理を行うた 事業効果向上 委託している業者は、当該施設の舞台装置の操作等に精通 目 め、専門業者に委託する。 • 事業費削減 しており、技術力も高い。近隣の自治体で同等の類似施設 的 事務の効率化 を受託している業者の委託料と比較して、安価であるため · 費用対効果 事業費の削減は困難である。 事 財政負担の必要性 委託契約業務のため、人件費及び業務時間の削減の余地は 文化会館等の舞台吊物音響照明等の操作業務を、専門的な技術をもつ業者に業務委託する。(志布志市文化 ・関係者との連携 ない。 会館・やっちくふれあいセンター・有明地区公民館の3施設) 容 合併前は、志布志市文化会館の1施設のみの管理運営体制であったが、現在は、3施設を1人常駐と補充者 で運営している。3 施設でイベント等が重なった場合、大がかりな仕掛けが必要な場合等には、物理的に人 達 • 数値目標 員の補充が不可欠となる。 目指す状況 設備の適正な管理を行うことで、利用者からの要望に適切 度 • 実現性 に対応し、各種文化事業、集会等を円滑に実施することが 評・情勢、環境の変化 できた。 志布志市文化会館、やっちくふれあいセンター、有明地区公民館の3施設に対して舞台吊物音響照明操作等 価・事業期間 状 の専門業者1人を常駐とし、催物が重複した場合は従事者(有資格者を含む)を補充した。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |設備の適正な管理を行うことで、利用者からの要望に適切に対応し、各種文化事業、集会等を円滑に実施す ることができた。 |設備(照明、音響機器等)の経年劣化のため、舞台等の事業実施中に不具合が発生する可能性が危惧されて おり、機器の更新をする必要がある。

作成日 令和 7 年 日作成 7 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 志布志市文化協会運営支援事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 4 5 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 4 4 4 ア文化祭等の開催 口 (基本目標) 統・文化のまち 4 4 4 主な費目 補助金 (個別目標) 多様な志を育むまち (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (施策) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 900 900 900 900 900 ア市文化協会会員数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 650 633 633 平成19 年度~ 105 105 105 ( 施 策 こころざしアップ教育推進プロジェクト 事業期間 イ 市文化協会の加盟団体数 団体 年度 ( 年間) 79 78 78 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (1) 総事業費の推移 (4)評価 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 文化協会の会員が高齢化しており、地域の芸術・文化振興 事源その他特定財源 千円 を担う人材育成の観点から新規団体の加盟及び会員の加入 市民のニーズ 業内. 書 訳 一般財源 促進が必要である。 千円 996 996 996 996 996 事業の効果 廃止・休止の場合、文化協会の活動の鈍化し、地域の文化 事業費計 996 千円 996 996 996 996 政策との整合性 (A) 芸術が衰退する可能性がある。 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0.200 0, 200 0,200 0, 200 0,200 文化協会の類似団体は市内には存在しないため、統廃合は 類似事業との連携 大件費概算 (B) 1,120 1,120 1,120 1,120 1, 120 困難である。 公平性 (A) + (B)千円 2, 116 2, 116 2, 116 2 116 各支部に配分する運営費について、会員数を基に分配して 2, 116 おり、公平である。 (2)事業概要 平成28年度に旧3町の文化協会が合併し、平成29年度から 市文化協会の芸術文化に関する活動を支援することで、市文化協会の活動内容の活性化と、地域の芸術文化 事業効果向上 志布志市文化協会が発足した。今後は、事業の見直し(研 の振興を図る。 • 事業費削減 修、広報誌の発行等)を実施するが、運営費の依存が高 的 く、事業費を削減することで文化協会の活動の鈍化し、地 事務の効率化 域の文化芸術が衰退する可能性があるため、削減の余地は · 費用対効果 事 財政負担の必要性 ない。 業 |文化団体に加入している会員が、文化活動に自ら参加し、積極的に学習に取組み、芸術文化の振興を図る。 ・関係者との連携 補助金支給事務及び市文化協会の活動支援を行っており、 併せて、各地区の既存の文化協会相互の交流を図る。 削減の余地はない。 容 必治 要名 財 ・ 終合するための知識が必要しなったので、20年3月に連絡投業会を記立した | 安経 整・統合するための組織が必要となったので、20年3月に連絡協議会を設立した。 性 緯 • 数値目標 目指す状況 それぞれの支部での活動が活発であり、支部祭なども例年 実現性 通り開催できた。 実 情勢、環境の変化 施 本市の芸術文化の振興を図るため、文化団体に加入している会員が文化芸術活動に積極的に取り組むととも 価・事業期間 状 に、各支部文化協会の相互の交流を図った。 況 0 拡充 改善 効率化 廃止終了 市文化協会及び各支部文化協会による芸術祭については、支部の加入団体で運営し、それぞれの開催地域で 日頃の活動成果を披露する機会となり、市民に対して地域の芸術、文化の発信を行った。 |会員が高齢化しており、組織運営及び芸術文化の技術継承のために新規団体の加盟及び会員の加入促進を図 題 る必要がある。

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成 (3)指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 担当課 9年度 事務事業名 自主文化事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 4 5 3 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 3 3 3 ア開催回数 口 (基本目標) 統・文化のまち 4 4 4 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 1,200 1, 200 1, 200 1,200 ア 入場者数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる。 3, 200 2,902 2,556 昭和52 年度~ (施策 こころざしアップ教育推進プロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源との他特定財源 公演内容(講演会・コンサート等)の選考、広報活動の強 千円 7,571 5, 458 3, 513 5, 458 5, 458 市民のニーズ 化することで、更なる成果の向上も期待できる。 | 本| 訳 | 一般財源 千円 5, 189 5, 189 2,577 5, 189 7,411 廃止・休止の場合、市民の質の高い牛の芸術文化(講演 事業の効果 10, 924 事業費計 千円 10, 148 10,647 10,647 10,647 会・コンサート等)を鑑賞する機会の喪失し、地域の文化 (A) 政策との整合性 芸術が衰退する可能性がある。 人 所要人員 (年間) 0.800 0.800 0.800 0,800 事業を廃止の影響 類似事業との連携 類似事業を行っている団体・機関がない。 ス 費 人件費概算 (B) 4,480 4,480 4,480 4,480 0 公平性 市内全域に周知活動を行い、チケットも同一金額で販売し (A) + (B) 千円 14,628 15, 127 15, 404 15, 127 10,647 ていることから、公平である。 (2)事業概要 鑑賞型芸術文化事業等を企画実施し、市民に優れた舞台芸術鑑賞の機会を創出し、市民生活の潤いと心の豊 事業効果向上 事業費の削減した場合、公演内容(講演会・コンサート 目 かさを高める。 · 事業費削減 等)の質が低下又は公演回数の減少するため、削減の余地 的 事務の効率化 はない。 公演等の調査、アーティスト等の選定、プロモーターとの · 費用対効果 事 財政負担の必要性 |契約等の外部委託できない業務を行っており、削減の余地 業 コンサート公演、文化講演会、ミュージカル公演等の開催により地域の文化振興や文化意識の高揚を図り、 ・関係者との連携 はない。 地域の活性化と市民生活に潤いを与える。 容 必治 昭和51年旧志布志町文化会館開館時から開始し、市民に多彩な文化芸術(講演会・コンサート等)に触れる要な (機会を提供することを見ぬし) たま業である 奏経 機会を提供することを目的とした事業である。 • 数値目標 成・目指す状況 予定していた公演をすべて実施することができた。トータ 度 実現性 ル集客率も80%を超えることができた。 (1) 鹿児島交響楽団コンサート 令和6年8月18日(日) 評 ・情勢、環境の変化 (2) 海老原喜之助 生誕120周年記念作品展 令和6年9月10日(水)から9月20日(金) 価・事業期間 グレープカンパニーお笑いライブ 令和7年3月16日(日) 況 (4) 劇団四季ファミリーミュージカル「二人のロッテ」 令和7年3月23日(日) 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 コロナウイルス感染症拡大防止の規制緩和により、制限なしでの講演を開催した。ソルドアウトする公演も あり、すべての公演において好評を得ることができた。 社会情勢の変動により、委託料の高騰が危惧される。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 担当課 事務事業名 青少年芸術鑑賞事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 1 10 4 5 11 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 17 11 ア実施する事業数 種類 (基本目標) 統・文化のまち 0 15 10 主な費目 (個別目標) 多様な志を育むまち 委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果·効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 市内の小・中学校の児童・生 対象 10 10 ア事業実施学校数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 校 0 15 10 年度~ こころざしアップ教育推進プロジェクト ( 施 策 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源との他特定財源 市内の小・中学校を2グループに分け、2年に1回、芸術を 千円 市民のニーズ 鑑賞する機会を提供しており、回数、日程調整等も適切で | 本| 訳 | 一般財源 千円 1, 650 0 2,805 1,650 1.816 事業の効果 ある。質の高い芸術鑑賞の機会が喪失することで、児童・生 事業費計 千円 0 2,805 1,650 1,816 1,650 (A) 政策との整合性 徒の感情を育む機会が失われる。国・県主催の類似事業が あるが、毎年ではない。国・県の主催事業があるが、鑑賞 人 所要人員(年間) 0.100 0.100 0.100 0.100 事業を廃止の影響 人 類似事業との連携 する学校が限定され、公平性が保持できない。 ス 費 人件費概算 (B) 千円 560 560 560 560 0 公平性 市内の全ての小・中学校で実施しているため、公平・公正 (A) + (B) 千円 560 3, 365 2,210 2, 376 1 650 である。 (2)事業概要 |青少年に優れた舞台芸術鑑賞の機会を与え、芸術に対する興味・関心を持たせることで、心豊かな青少年の 事業効果向上 育成を図る。 · 事業費削減 事業費を削減した場合、鑑賞する内容の質の低下につなが 的 事務の効率化 るため削減の余地はない。 事業内容の選定、契約事務等外部委託できない業務を行っ · 費用対効果 事 財政負担の必要性 ており、削減できる余地はない。 業 市内の青少年に対して、優れた舞台芸術鑑賞の機会を与え、芸術に対する興味・関心をもたせ、創造的な芸 ・関係者との連携 術文化の情操形成に資する。 容 健全な心身を持つ児童・生徒を育むため、旧志布志町及び旧松山町が合併以前から実施している。 達・数値目標 成・目指す状況 芸術鑑賞の機会は、地理的に不利にある状況から、公的に 度 実現性 支援する必要がある。より良い芸術に、地方にいても触れ 評・情勢、環境の変化 られる機会を設ける機会となっている。 馬頭琴演奏 8校(令和6年度:7月9日 山重小学校、原田小学校、7月10日志布志小学校、蓬原小学校 価・事業期間 7月11日 安楽小学校、泰野小学校、7月12日潤ヶ野小学校、松山小学校) 状 宮井紀行アコースティックコンサート 2校(令和6年度:7月17日 宇都中学校、7月18日 伊﨑田中学校) 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |令和6年度、7年度にて、市内のすべての小学校、中学校にて開催を計画。 |学校からの要望が多かった事業であり、開催にあたり児童・生徒たちの芸術文化の意識向上に役立てること ができた。 演目の選定

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 志布志市文化会館リニューアル事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 7 10 4 0 0 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 アエ事・修繕箇所数 箇所 (基本目標) 統・文化のまち Λ 1 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 工事費、委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 48, 000 48,600 48,000 48, 000 ア利用者数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 47, 484 42, 589 平成21 年度~ (施策 こころざしアップ教育推進プロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 18,900 施設の利便性及び安全性の向上を目的に事業を実施するた 業内.. 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 めの改修工事であるため、向上の余地はない。 千円 0 75 0 0 事業の効果 施設の不具合等が改善されず、利用者の事故等につながる 事業費計 千円 0 18,975 0 0 0 ・政策との整合性 (A) 可能性がある。 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0.100 0.100 0.100 人 当該施設の改修・改善工事であるため、類似事業はない。 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 560 560 560 0 0 改修・修繕工事を行うことで、利用者全てに恩恵があるた 公平性 (A) + (B) 千円 560 19, 535 560 0 0 め、公平である。 (2)事業概要 志布志市文化会館の設備に不備がある場合、適宜、修繕等を実施することで安全かつ適正な施設の管理がで 事業効果向上 改修・修繕工事が主な事業費であるため、削減の余地はな 目 きる。 • 事業費削減 的 事務の効率化 主な業務内容は改修箇所調査・入札準備等で、人件費及び · 費用対効果 事 業務時間の削減の余地はない。 志布志市文化会館は、築46年を経過し、建物や設備等の更新・改修の箇所が緊急的なものを含め多く発生し 財政負担の必要性 業 価・関係者との連携 ている。19年度に基本計画を策定し、21年度以降、ホール棟・管理棟において各種の増設、改修等工事を 行っている。今後の工事としては、ホール内の座席取替が残る。 容 |昭和51年5月に開館して以後、施設の老朽化により不良箇所が発生している。また、当会館は旧来の構造 であるため利用者のニーズに応えるには、ホール内の仕様改良・バリアフリー化・駐車場不足解消等の改修 幸 • 数値目標 が必要に迫られている。 成・目指す状況 施設の老朽化が進んでおり、施設・設備の更新が急がれる 度 実現性 状況であるが、高額な予算を必要とするため進んでいな 【令和5年度】コミュニティセンター志布志市文化会館屋上防水工事 評 ・情勢、環境の変化 契約金額 : 18,975,000円 価・事業期間 契約相手方:有限会社 川間塗装工業 況 修繕概要 : 文化会館ホール屋上部分の防水工事 ○ 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了 屋上防水改修工事を実施したことにより、利用者の安心・安全で快適な文化施設としての利用が図られた。 館内のLED化や音響・舞台照明施設、観客席などの更新を年次的に実施する必要がある。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3) 指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 担当課 創年と子どものまち官言事業(創年市民大学開設事 事務事業名 社会教育グループ 担当G (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 ア 講義・講演数(プログラ 1 10 4 15 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 4 15 15 15 口 (基本目標) 統・文化のまち ム数) 14 14 14 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 70 70 70 70 ア市民大学生数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 58 60 64 平成16 年度~ こころざしアップ教育推進プロジェクト (施策 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算)(計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) 財国県支出金 千円 入学生を増加させまちづくりを学ぶ人材確保に努めるとと 事源その他特定財源 千円 もに、自主研究グループを中心にまちづくり活動 (実践) 市民のニーズ 業内. | 本| 訳 | 一般財源 を推進する。 千円 1, 540 1, 375 1, 375 1,375 1,540 事業の効果 市民がまちづくりを学ぶ場及び関心の喪失につながり、市 事業費計 千円 1,375 1,375 1,375 1,540 1,540 (A) 政策との整合性 が目指す共生・協働・自立のまちづくりの推進が鈍化す 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0.100 0.100 0.100 0.100 0, 100 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 560 560 560 560 560 まちづくりの人材を推進する事業がない。 公平性 (A) + (B) 千円 1,935 1, 935 1,935 2 100 2 100 まちづくりに関心のある人はだれでも受講でき、学生一律 の受益者負担があるため、公平である。 (2)事業概要 少子高齢化社会の活性化と市民を主役にした生涯学習のまちづくりの推進を図るために「創年と子どものま 事業効果向上 |ちづくり||と「地域学から始まるまちづくり」の2つの「志」を掲げ、「人財(布)」を育む市民大学として 事業費の削減した場合、カリキュラム内容の質が低下又は • 事業費削減 開設する。 カリキュラム回数が減少するため、削減の余地はない。 的 事務の効率化 NPO生涯学習センターと連携して事業を展開し、委託契約事 · 費用対効果 事 務及び市民大学開講支援を行っており、削減の余地はな 創年と子どもの交流により、創年にはこれまで培ってきた経験と能力を活かして子どもに対する指導を通じ 財政負担の必要性 業 V) て生きがいをもたらし、子どもには創年に対する尊厳と地域で生きる知恵を継承する全国初のモデル事業で ・関係者との連携 あり、創年市民大学は、市民を主役にした生涯学習のまちづくりの推進を図る目的に開学している。 容 必始 要経 性緯 • 数値目標 目指す状況 人口減少が続く中で、講座生を確保できていると思われ • 実現性 る。自主研究グループも立ち上がっており、全国的にも有 情勢、環境の変化 名な大学となっている。 創年と子どものまち宣言事業の一環として、人材を育む市民大学として、平成16年に開校し、21年目を迎え 価・事業期間 施 狀 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 第21期創年市民大学は6月7日(金)に開校し、64人が学生登録を行った。 |全14回の講座の中には、学生以外も受講できる、公開講座も開催しており、第2回の「しげちゃんとよしふみ| さんの絵本ライブ2024」では、911人の受講者があった。 在校生の高齢化と固定化に伴い、活動が停滞しつつある。 題

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3) 指標の推移 5年度 7年度 生涯学習課 4年度 6年度 8年度 9年度 事務事業名 社会教育グループ (目標) 生涯学習推進事業 担当G (目標) (日標) (目標) (目標) (日標) 活動指標 (実施状況) 単位 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 1 10 4 140 140 140 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 4 140 ア公墓講座数 講座 (基本目標) 統・文化のまち 97 98 96 20 20 20 20 20 多様な志を育むまち 主な費目 委託料 イ短期体験講座数 講座 (個別目標) 21 19 23 (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 1 生涯学習の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 2,600 2,600 2,600 2,600 ア公募受講者数 (基本目標) 結婚・出産・子育て・教育の希望をかなえる 1, 290 1,341 1,319 平成3 年度~ 200 200 200 200 こころざしアップ教育推進プロジェクト イ短期体験受講者数 (施策 事業期間 年度 ( 年間) 211 197 224 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (1) 総事業費の推移 (4)評価 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 生涯学習の受講生は女性を中心に受講しており、男性が受講しや 千円 業 内... 市民のニーズ すい講座の開発及び講座の情報発信を行うことで受講生の向上を | 本| 訳 | 一般財源 千円 25, 362 25, 362 25, 362 25, 622 25,622 事業の効果 図る。市民の生涯学習に対する意欲低下、生きがいづくり、仲間 事業費計 千円 25, 362 25, 362 25, 362 25, 622 25,622 (A) 政策との整合性 づくりの場の喪失につながる。生涯学習講座ではきっかけづくり 事業を廃止の影響 となる初心者向けの講座を中心に安価で提供する等、民間企業が 人 所要人員(年間) 0,200 0, 200 0.200 0, 200 0.200 提供している講座と重複しないようにしている。各講座一律の受 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 1,120 1, 120 1, 120 1, 120 1, 120 益者負担を設定しており、講座には市民全員が参加することが可 公平性 (A) + (B) 千円 26, 482 26 482 26 482 26, 742 26, 742 能であることから、公平性は保たれている。 (2)事業概要 生涯学習講座数及び受講者数の増加のため、新規講座の開 生涯学習のまちづくりを推進するため、「いつでも」「どこでも」「だれでも」をテーマに、市民の生涯に 事業効果向上 発、講座の情報発信等を推進しており、削減の余地はな わたる学習活動を支援するとともに、学んだことを地域社会に還元する生涯学習社会の形成に寄与する。 • 事業費削減 的 事務の効率化 生涯学習講座数及び受講者数の増加のため、NP0生涯学習セ · 費用対効果 事 生涯学習推進委員会の諮問を受け、NPO志布志生涯学習センターによる生涯学習講座の開設及び学習成果 ンターと連携して事業の支援を行っており、削減の余地は 財政負担の必要性 の発表(牛涯学習フェスティバル)、広報誌の発行等を委託する事業である。 ない。 ・関係者との連携 |生涯学習推進委員会とは、生涯学習の普及と推進を目的に教育委員会が設置した団体であり、任期は3年で現 在23名の委員を委嘱している。 容 官民一体となった生涯学習の推進を目指し、平成3年に生涯学習講座の開設をさわやか生涯学習センターへ 必治 移管するのと同時に本事業を開始した。平成7年、生涯学習推進委員会を設置し、その執行機関として生涯 要経学習センターを開所した。また、平成25年度からは、生涯学習センターのNPO化に伴い補助事業から委性 韓託事業へ変更し、生涯学習推進委員会は諮問機関として位置付けた。 達 • 数値目標 本市の生涯学習については、県内でも大規模に取り組んで 成・目指す状況 いる事業であり、旧志布志町から継続しているものであ 度 実現性 評 ・情勢、環境の変化 受講生の数についても、近隣市町とは比較にならないほど (1) 委託先:特定非営利活動法人志布志生涯学習センター 施 価・事業期間 (2) 公募講座(1講座につき月2~4回実施) 状 況 公募講座を96講座1,319人、短期講座を10講座104人、体験学習を13講座110人が受講した。講座の計画及び実 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |施については、NPO志布志生涯学習センターと各条例公民館主事が連携し、官民一体となった推進体制が確立 している。令和7年2月23日(日)に生涯学習フェスティバルを開催し、学習の成果を発表することができ |新規講座の開設に努力しているものの、講座生の固定化及び高齢化に加え、人口減少が続く中で、新規受講 生の開拓がさらに難しい状況となっている。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3) 指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 志布志運動公園の運動施設管理事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (月標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 5 1 10 2 8 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 8 8 8 ア管理体育施設数 箇所 (基本目標) 統・文化のまち 8 8 8 需用費、役務費、委託料、原材料費、負担金補助 主な費目 (個別目標) 多様な志を育むまち (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 玄 3 スポーツ活動の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 200,000 190,000 200,000 200,000 ア利用者数 (基本目標) 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる。 180, 921 206, 737 195, 296 平成18 年度~ (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 8年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算)(計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源との他特定財源 千円 市民のニーズ 市民のスポーツ活動の推進のために、欠かすことのできな | 本| 訳 | 一般財源 千円 48, 426 47, 476 47, 866 47,866 47, 866 事業の効果 い施設だが、施設の老朽化に伴い、修繕等必要な箇所が増 事業費計 47,866 千円 48, 426 47, 476 47,866 47,866 政策との整合性 (A) えている。また、スポーツ交流(合宿)人口の増加、競技 ・事業を廃止の影響 人口の減少・多様化により競技に応じた施設整備が必要と 人 所要人員 (年間) 0.050 0,050 0.050 0.050 0,050 人 類似事業との連携 なっている。要望に対応した整備を行うことで、更なるス 千円 280 280 280 280 280 公平性 ポーツ活動の推進を図ることができる。 (A) + (B) 千円 48, 706 47, 756 48, 146 48, 146 48, 146 (2)事業概要 業 事業効果向上 志布志運動公園の運動施設の管理業務を委託する。 • 事業費削減 施設の管理、運営に係る必要最小限の経費等で委託してお 的 事務の効率化 り、物価高騰により原材料費、燃料費等も上がる等の社会 情勢の影響も大きく受けていることから、自助努力だけで · 費用対効果 事 財政負担の必要性 は費用の削減は難しい。 業 運動公園の運動施設の管理業務委託 ・関係者との連携 容 |昭和34年の陸上競技場の完成を始めとして、その後体育館・多目的広場等の体育施設が整備され、志布志運 動公園の運動公園施設として管理している。平成18年度途中から指定管理者制度を導入し、指定管理者の選 達 • 数値目標 適切な管理、運営が実施されており、施設全体で18万人程 定を行い、協定を結び管理を委託している。 成・目指す状況 度に利用されている。市民のスポーツ、余暇、健康増進を 度 • 実現性 更に図るためにも、今後も適切な管理、運営が必要であ 評・情勢、環境の変化 施 価・事業期間 特定非営利活動法人志布志スポーツクラブへ管理業務を委託している。 狀 況 拡充 現状維持 ○ 改善 効率化 廃止終了 |指定管理者へ管理委託を行い、施設に密着した管理、運営を行うことにより、施設利用者の利便性の向上が 図られた。 **善**|利用者の要望を踏まえた施設整備の必要がある。 |志布志運動公園体育館の改修工事を令和4年度から5年度にかけて実施したが、他の施設の老朽化、経年劣 化等による不具合の発生しており、今後も計画的な改修・修繕が必要である。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 志布志運動公園の運動施設改修事業 社会教育グループ 担当G (目標) (目標) (月標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 5 10 2 0 0 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 2 ア改修工事件数 (基本目標) 統・文化のまち 1 工事請負費、委託料 主な費目 (個別目標) 多様な志を育むまち ※令和4年度逓次繰越分含む (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 玄 3 スポーツ活動の推進 (実績) (実績) (実績) 市民 対象 管理体育施設数 200,000 190,000 200,000 200,000 ア利用者数 (基本目標) 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる。 80, 921 206, 737 年度~ H18 (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算)(計画・予算)(計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 8,080 事源との他特定財源 千円 222, 557 433,600 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 千円 82, 355 事業の効果 市民のスポーツ、余暇、健康増進を図る目的で設置された 事業費計 (A) 千円 230, 637 515, 955 0 0 0 0 政策との整合性 施設であり施設の修繕、改修により、施設を安全・快適に ・事業を廃止の影響 利用できるようになり、スポーツ施設の利用者が増加、ス 人 所要人員(年間) 0.100 0.100 0.100 1, 100 0.000 0,000 人 類似事業との連携 ポーツの振興が図られる。 ス 費 人件費概算 (B) 千円 560 560 560 6, 160 0 公平性 (A) + (B) 千円 231, 197 516, 515 560 6, 160 0 0 (2)事業概要 社会体育施設の改修、更新を実施し、利用者の利便性・安全性の向上及び施設周辺住民の安全性を確保す 事業効果向上 目 る。 · 事業費削減 各施設の維持管理をおこなう上で、老朽化・利便性による 的 事務の効率化 不具合箇所を解消するためには、改修工事が必要な箇所が あり、利用者ニーズを把握しながら、優先順位等により年 · 費用対効果 事 財政負担の必要性 次的、計画的に行う必要がある。 利用者が施設を快適、安全に利用し、スポーツを楽しめるよう施設の老朽化による改修工事やゾーニングに ・関係者との連携 基づく地域の特性に合わせた施設整備を推進しながら、改修工事を実施する。 容 施設を設置した時から、体育施設の善良な維持管理を行うために開始された。 達・数値目標 成・目指す状況 令和4年度から令和5年度にかけて志布志運動公園体育館 • 実現性 及び志布志運動公園武道館の改修工事を行い、屋根防水、 評・情勢、環境の変化 外壁塗装等の改修を実施した。 老朽化による修繕だけではなく、スポーツ合宿等に対応するための改修を実施している。令和4年度から令 価・事業期間 状 和5年度において、志布志運動公園体育館改修工事を実施した。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 これまの改修等で、利用者の利便性・安全性の向上が図られた。 老朽化による大規模な修繕が必要な施設が複数あり、大きな財政負担が生じるため、今後も計画的及び年次 的な整備が必要となっている。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 社会教育グループ 志布志市スポーツ協会活動事業 担当G (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 5 10 3 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 3 3 3 ア理事会の開催 口 (基本目標) 統・文化のまち 1 1 負担金補助及び交付金 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 玄 3 スポーツ活動の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 19 20 20 19 ア加盟団体数 (基本目標) 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる 団体 20 20 19 年度~ H18 (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 業 内. 市民のニーズ スポーツ協会は、社会体育の振興を図り、市民の体力の向 千円 1,629 2,020 2, 229 2,579 2, 579 事業の効果 上・健康の増進を 推進するとともに、スポーツ精神を養 事業費計 2,020 千円 1,629 2,229 2,579 2,579 政策との整合性 (A) うことを目的にしており、現在競技団体やスポーツ少年団 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0,200 0, 200 0,200 0, 200 0,200 人 が加盟している。加盟についても、幅広く広げているた 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 1,120 1, 120 1, 120 1, 120 0 め、公平・公正である。 公平性 (A) + (B) 千円 2,749 3, 140 3 349 3, 699 2,579 (2)事業概要 |市民の体力向上と健康増進を図るとともに、組織の強化と競技力の向上を推進し、社会体育の振興を図るこ 事業効果向上 市主催のスポーツ振興事業への競技参加はスポーツ協会に 目 とを目的とする。 • 事業費削減 加盟する会員の協力及びボランティアにより事業が支えら 的 事務の効率化 れている。競技スポーツの競技力向上はもちろんのこと、 · 費用対効果 事 生涯スポーツ振興の面からも、今後も継続した取り組みが 内における社会体育の振興を図り、市民の体力の向上・健康の増進を 推進するとともに、スポーツ精神を 財政負担の必要性 業 必要である。 養うことを目的に平成18年度に市体育協会が設立された。現在は陸上競技、剣道、柔道など19競技団体(令 ・関係者との連携 |和6年度末)が加盟している。令和5年度から「志布志市スポーツ協会」へ名称変更。 容 当事業は補助金を交付することで、市のスポーツ発展の中 平成18年度に市体育協会が設立され補助金の交付要綱に基づき体育協会の運営費の補助を行っている。 達・数値目標 枢を担っている体育協会の組織運営を円滑にし、市のス 成・目指す状況 ポーツ振興や各競技力向上を目指すものである。今後は、 度 実現性 人口減少や高齢化により、会員及び競技人口が減少傾向に 情勢、環境の変化 あるなか、競技種目が多様化していることから、様々なス 施 20競技団体へ育成補助金・競技力向上対策費を助成し、各競技団体の育成及びスムーズな団体運営が図られ 価・事業期間 ポーツを楽しめる環境整備が必要となる。 状 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |19競技団体を対象として育成補助金・競技力向上対策費を助成し、各競技団体の育成及びスムーズな団体運 |営が図られた。また、競技団体においてはスポーツの日を中心に、志布志市スポーツ振興大会を開催し、競 技力の向上が図られた。 スポーツ人口の増加のためには、スポーツ協会の各競技団体が市民ニーズの沿った、参加しやすい企画をし ていくことが必要である。

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 しおかぜ公園管理事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 5 10 2 12 12 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 12 12 12 ア管理施設面積 ha (基本目標) 統・文化のまち 12 12 12 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 委託料、需用費、役務費 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 玄 3 スポーツ活動の推進 (実績) (実績) (実績) 市民 対象 利用者 20,000 40,000 20,000 20,000 ア利用者数 (基本目標) 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる 16, 535 26, 971 22,621 年度~ H22 (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 市民のニーズ 業内. | 本| 訳 | 一般財源 千円 15, 972 16, 942 17, 318 16,005 16, 009 事業の効果 近接する志布志運動公園の指定管理者により管理されてお 事業費計 千円 15,972 16,942 17, 318 16,005 16,005 (A) ・政策との整合性 り、施設等の利用については連携した形での利用が図られ 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0,200 0, 200 0,200 0, 200 0.200 人 ている。 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 1, 120 1, 120 1, 120 1, 120 1, 120 公平性 (A) + (B) 千円 17,092 18,062 18, 438 17, 125 17, 125 (2)事業概要 |しおかぜ公園の管理業務を委託・管理させることにより、利用者の利便性の向上と、市民サービスの向上を 事業効果向上 目 図る。 · 事業費削減 近接する志布志運動公園の指定管理者により管理されてお 的 事務の効率化 り、施設等の利用については連携した形での利用が図られ · 費用対効果 事 ている。また、必要最小限の人件費、光熱水費等である 財政負担の必要性 |平成22年8月より、新若浜の多目的広場が一部供用開始となり、鹿児島県より市へ管理委託された。そのこ ・関係者との連携 とに伴い、利用受付業務及び維持管理業務を委託する。 容 平成22年8月より、新若浜の多目的広場が一部供用開始となり、鹿児島県より市へ管理委託されたため。 達・数値目標 成・目指す状況 適切に管理されていることにより、市民の憩いの場とし て、またサッカーやジョギング・ウォーキング等のスポー 度 • 実現性 実 評・情勢、環境の変化 ツの場として多くの市民に利用されている。 施 しおかぜ公園環境美化業務委託については、隣接する志布志運動公園の指定管理者である特定非営利活動法 価・事業期間 状 人志布志スポーツクラブへ維持管理や環境美化を委託した。 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 適切に管理されていることにより、市民の憩いの場として、またサッカーやジョギング・ウォーキング等の スポーツの場として多くの市民に利用された。 大会や合宿での利用が多く、今後も各種大会やスポーツ合宿誘致のために関係団体と利用調整を行いなが ら、維持管理を行う必要がある。

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成 (3)指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 担当課 事務事業名 生涯スポーツ推進事業 担当G 社会教育グループ (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 5 31, 500 31,500 31, 500 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 31, 500 ア人口 (基本目標) 統・文化のまち (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 委託料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 玄 3 スポーツ活動の推進 ア) 市民 (実績) (実績) (実績) 対象 イ) 会員数 20 20 20 20 ウ) スポーツ教室実施数 アスポーツ教室実施数 (基本目標) 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる。 口 16 18 18 年度~ R1 (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 市民のニーズ 業内. | 本| 訳 | 一般財源 千円 2,600 2,600 2,600 2,600 2,600 事業の効果 クラブの設立により、市振興計画目標値である週1回以上 事業費計 千円 2,600 2,600 2,600 2,600 2,600 (A) ・政策との整合性 スポーツを行っている成人の割合65%以上の達成や、ス ポーツに対する市民の幅広いニーズに応えることができ 人 所要人員(年間) 0.100 0.100 0.100 0.100 0, 100 事業を廃止の影響 人 類似事業との連携 る。 千円 560 560 560 560 560 公平性 (A) + (B) 千円 3 160 3, 160 3, 160 3, 160 3, 160 (2)事業概要 スポーツを通じた健康増進、共生社会を目指し、市民の誰もが、いつでも、どこでも、気軽に、いつまで 事業効果向上 もスポーツに親しめる環境を整備するため、その活動の中心となる総合型地域スポーツクラブを設立・育成 目 • 事業費削減 する。 クラブの安定した運営のために、会員の確保、クラブの広 的 事務の効率化 報・周知及びスポーツ協会やスポーツ少年団等の各種団体 · 費用対効果 事 との連携が必要となる。 財政負担の必要性 特定非営利活動法人志布志スポーツクラブに、定期教室やイベントの開催を委託し、総合型地域スポーツク ・関係者との連携 ラブ「レインボー424スポーツクラブ」が事業を実施する。 容 国のスポーツ振興基本計画に「全市町村に少なくとも1つの総合型スポーツクラブを置く」と定められて おり、市振興計画目標値である週1回以上スポーツを行っている成人の割合65%以上を達成するため、総合 幸 • 数値目標 型スポーツクラブの設置を推進することとなった。 目指す状況 令和3年2月に「レインボー424スポーツクラブ」が立 • 実現性 ち上げられ、今後様々な活動の展開が期待できるが、継続 情勢、環境の変化 して財政面を含め援助が必要である。 令和3年2月に総合型地域スポーツクラブ「レインボー424スポーツクラブ」が設立され、事業が実施さ **□**価 ・事業期間 施 狀 れている。 況 ○ 拡充 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |令和6年度においては、子どもから高齢者向けの定期教室やイベントが開催され、延べ4,000人を超える参加 あり、スポーツの振興や健康増進、体力向上が図られた。 クラブを立ち上げた当初は、財政的に厳しい状況が予想される。 題

作成日 令和 7 年 7 月 1 日作成 (3)指標の推移 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 担当課 9年度 スマートフォンアプリ「スポーツタウン2023プログラ 事務事業名 社会教育グループ 担当G (目標) (目標) (月標) (目標) (目標) (日標) ム」利用事業 単位 活動指標 (実施状況) 款 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 10 5 5 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 1 3 5 5 ア実施回数 口 (基本目標) 統・文化のまち 2 (個別目標) 多様な志を育むまち 主な費目 使用料及び賃借料 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 玄 3 スポーツ活動の推進 (実績) (実績) (実績) 対象 市民 600 700 800 800 ア参加者数 (基本目標) 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる。 229 220 年度~ R3 (施策 5 観光パワーアッププロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (実績・決算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 市民のニーズ 業内. | 本| 訳 | 一般財源 千円 1,056 1, 056 事業の効果 市振興計画目標値である週1回以上スポーツを行っている 事業費計 1,056 千円 1,056 0 0 0 (A) 政策との整合性 成人の割合65%以上の達成のために、気軽に取り組める 0.100 ・事業を廃止の影響 ウォーキングやランニングを継続して取り組むために有効 人 所要人員 (年間) 0.100 人 類似事業との連携 である。 千円 560 560 0 0 0 公平性 (A) + (B) 千円 1,616 1,616 0 0 0 (2)事業概要 |スマートフォンのアプリを利用したランニング・ウォーキング大会を開催し、体力の向上と健康に対する意 事業効果向上 識の高揚を図る。 · 事業費削減 平成30年度までマラソン大会を開催していたが、開催に伴 的 事務の効率化 う事務の削減や大会当日の動員も不要となり、費用も抑え · 費用対効果 事 られる。 財政負担の必要性 スマートフォンのアプリを利用したランニング・ウォーキング大会を開催する。アプリでは、大会参加時の ・関係者との連携 ランキングだけでなく、毎日の走行距離等が確認でき、運動の継続へのモチベーションを確保できる。 容 |令和2年度に、志布志市と株式会社アールビーズが包括連携協定を結んだことにより、同社が開催する「オ |クトーバー・ラン&ウォーキング|の自治体対抗戦に参加した。新型コロナウイルス感染症の影響で様々な • 数値目標 |イベントが中止になる中で、影響を受けにくいイベントを今後展開していく必要がある。 目指す状況 参加者を増やすことで、市振興計画目標値である週1回以 実現性 上スポーツを行っている成人の割合65%以上の達成に近づ 情勢、環境の変化 けることができる。 施 志布志市と包括連携協定を締結している株式会社アールビーズが提供する、ウォーキングの距離等が自動記 価・事業期間 状 録されるスマートフォンアプリの使用。 況 拡充 現状維持 改善 効率化 ○ 廃止終了 令和5年度においては、229名が登録しており市民の健康増進、体力向上が図られた。アプリ内では歩数や走 |行距離も表示され、全国、県、市内毎に自身のランキングが表示されることから、日常の運動に対する意識 の向上とスポーツのきっかけづくりが図られた。 **善** 高齢者でもアプリの登録が簡単にできるように、委託業者と連携していく。 アプリの登録がうまくいかないという声もあり、今後改善が必要である。 題

# 令和 <mark>7</mark> 年度 **事務事業マネジメントシート**

	2	う和	7	年度 事	務事業マ	ネジメント	シート							作成	日 令和	7 年	7	月 1	日作	成			
							担当課	生涯2	学習課			(3	)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度			
事	務事業名	松山	体育施	設管理事業			担当G		教育グループ	プ (松口	(山分室)				(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
,	22 7 7 14 15		11 13 %				,	会計		I B I	備考	1	活動指標(実施状況)	単位	(実績)								
++	<i>ざしいつ</i> こ		/ ±4-	ち カルト と曲	ムって土もとわっ	. I & Z h 1.	予算科目		10 6		VIII J	Н			2	2	2.	2					
	づくりプラン	振 5	<教	月・乂化ノ心豆。 - 女ルのま <i>も</i>	かで志あふれる	八つくりと	了异代日	1	10 0	2		ア	管理体育施設数	箇所	4		<u> </u>						
(	(基本目標) 興 (伝統・文化のまち)													2	2								
(個	引別目標) 計 2 多様な志を育むまち					主な費目	雲用費	、役務費、委	託料. 丁	事請負費	1												
( )	1 70.1 11 177.7	田は、画なりをはないでもなるの						1111711794		10/11	2.7-111779	'											
(	 施 策 )	体	7 12.	ツ江野の#*	£								+ B 长年 (	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
(	ル ァ )	系 3	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ーツ活動の推進	<u>E</u>		1.1.4.				).	成果指標(成果・効果)	早业	(実績)	(実績)	(実績)							
		総 1			対象		市目	モ			施設利用者数(体育館・多			55,000	55,000	55,000							
(基	:本目標)	4	魅力的	的で、安心して	「暮らせるまち	をつくる						ア	的グラウンド・陸上競技場	人	I	45, 025	,						
			<del> </del>						在 度	~.			等)			3, 400	3, 400	3, 400	3, 400				
(	施 策 )	略 3	公共力	施設最適化プロ	1ジェクト		事業期間		年度~			イ	施設利用者数(プール	) 人				3, 400	3, 400				
		μП						年間)				2, 700	2,652	2,652									
(1)	総事業費の	維移	単位	4年度	5年度	6年度	7年度		8年度		年度	(4	)評価		所管課による評価								
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算	章) (言	計画・予算)	(計画	・予算)	Ľ	/ F1 IE4		N・市外問わず利用できるスポーツ施設を維持管:								
年	財国県支出	金	千円																	持管理す			
間事	源その他特	定財源	千円	1, 693	35, 300	4, 960	1, 80	6	1,807				・市民のニーズ		ることで市民の健康増進等に寄与している。 事務事業を廃止した場合、公共のスポーツ施設が無くなる事になり身近な市民の憩いの場所・野外レクリエーショ								
	訳 一般財源	 F	千円	21, 448	24, 005	26, 598	23, 13		35, 110			有	・										
	事業費計	(A)	千円	23, 141	59, 305	31, 558	24, 93		36, 917			効	・政策との整合性						・レクリコ	ニーショ			
	所要人員(		人	1, 000	1,000	1,000	1.00	_	1, 000			性	・事業を廃止の影響				とになる			5 AC 1016 A			
- J	人件費概算		千円	5, 600	5, 600	5, 600	5, 60		5,600			評	・類似事業との連携				も利用で 担につい						
ス費								_				価	<ul><li>公平性</li></ul>				担につい 見直した		干皮に巾	Ы.Ш			
	. ,	(B)	千円	28, 741	64, 905	37, 158	30, 53	6	42, 517			ı		グト个リカコイ	ヨ カリ(〜 个リ)	用料金で	兄旦した	0					
(2) 事	業概要	3 3 3 de -			20.1.2			· · ·			,	L				11 -1-11			- 11 a · 1 · fafa	ann for a			
事業目的	がる。	[か週.	止に官	埋され、市氏が	が安心して利用	「でさ、体力回	上・健康増	進や心	♪身の健全7。	(発展に	こつな	効率	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化	よる管理との協議また、	型に移行 養・指示 尾野見	した。市 等必要最 地区運動	設は、H1 は大規模 小限の業 広場は直	な施設修 務に努め	繕や指定 ている。	2管理者			
事業内容	松山体育	施設	(城山	総合公園、尾雪	野見地区運動広	場)の管理を	行う事業で	ある。				性評価	・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	修などの管理に努めている。 事業費の削減については、節電・節水、管理方法の化に努めることにより削減の余地はある。						ちの合理			
<ul><li>必要性</li><li>対数</li></ul>	が、H19年度 ら)するな。 また、尾!	から指 ご管理 予見地	記で管理施設の を運動が で運動が	書による管理に 増加や既存施設の 広場も直営にて野	目的グラウンド等 移行した。その名 の老朽化に伴う維 環境美化や維持補	後、新規に増設 排補修など管理 対修などの管理に	したテニスコ の多様化が 努めている。	ート3 公要と7	面を供用開始 なってきてい	台(H294 る。	年4月か	達成度	<ul><li>数値目標</li><li>目指す状況</li><li>実現性</li></ul>	城山総合公園の体育施設は、H19年度から指定管理者制度を導入しており、今後、利用申請受付、料金支払いの簡略化の検討を図っていく。 また、尾野見地区運動広場は直営管理を行っているが、必要に応じて予算の充実を図り環境美化や維持補修などの									
実施状況	ている。 R6年度においては、非常用照明設備取替修繕、多目的広場トイレ洋式化修繕及び休養広場トイレ洋式化修繕、陸上競技場園路排水溝 蓋板取替修繕を実施した。また、経年劣化により不具合が発生している大プールの塗装改修工事を行った。											及評価	・情勢、環境の変化 ・事業期間		に努めていく。								
成果	城山総合公園の運動施設は、指定管理者制度になって以降、市民からの利用に関する苦情等は以前より も減少してきており、各施設における適正な維持管理が図られている。 運動施設の大プール塗装改修、公園内トイレ洋式化の整備を行うことにより、安全で快適な運動施設の 利用が期待できる。											改革が	拡充	現状維持	寺	改善	0	効率化		廃止終了			
課題	施設の老朽化により早期に修繕を要する箇所が増えてきている。									叹善 案	改善事業の効率性改善のため、施設のインターネット予約システムの導入や利金の見直し、利用料金制の導入の検討を図る。												

行和 ( 年度 <b>事務争業マインメントンート</b>												作成日 令和 6 年 7 月 1 1								
						担当課	生涯学習	課		(3	)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度		
事務事業名	志布志	市やっ	っちくふれあい	<b>いセンター管理</b>	運営事業	担当G	社会教育 会計		(松山分室) 目		活動指標(実施状況)	単位	(目標) (実績)	(目標)	(目標) (実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
まちづくりプラン (基本目標)	振 5	< 教育 徳・文	・文化>心豊☆ 化のまち	かで志あふれる	人づくりと伝	予算科目	1 10		7	 ア	開館の日数	日	308 308	308	308	308				
(個別目標)	[∰+]			つなげるまち	主な費目	需用費 (修繕料) 、役務費、 委託料														
( 施 策 )	···体 系 1	文化芸	 術活動の推進	と文化事業の	 充実		X # 0 1 1			,	成果指標(成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)		
(基本目標)	総 4	魅力的	で、安心して	暮らせるまちる	をつくる	- 対象 市民					延べ利用者数	人	15, 000 9, 386	15, 000 10, 638	15, 000					
( 施 策 )	·· 戦 戦 略	公共施	 設最適化プロ	ジェクト		事業期間	業期間 H9 年度~ 年度( 年間)			イ			3,000	10,000						
(1) 総事業費の	推移	単位	4年度 (実績・決算)	5年度 (実績・決算)	6年度 (実績・決算)	7年度 (計画・予算		年度	9年度 (計画・予算)	(4	)評価			所管	· 課による	評価				
年 事業費 本 事業費 事業費 事業費 事業費 事業員 (A) + (2) 事業概要	定財源 原 (A) (年間) (B) (B)	千円 千円 千円 千円 人 千円	8,016 21,732 29,748 1.000 5,600 35,348	1, 963 22, 091 24, 054 1, 000 5, 600 29, 654	4, 960 26, 598 31, 558 1, 000 5, 600 37, 158	55 51, 33 51, 89 1.00 5, 60 57, 49	99 66 55 00 00	560 46, 747 47, 307 1, 000 5, 600 52, 907		有効性評価	<ul><li>事業の効果</li><li>・政策との整合性</li><li>・事業を廃止の影響</li><li>・類似事業との連携</li></ul>	施設の適正な維持管理及び運営を行うことにより、利用者が快適に利用でき文化芸術への志向が高まり市民発表の機会を提供できる。市民の文化活動の拠点施設であり、また保健機能施設も備えており廃止・停止の方向性は考えにくい。類似施設として志布志市文化会館があるが、施設規模、周辺環境に大きな違いがあるため統廃合は難しい。施設条例・管理規則に基づき利用料を徴収しており公平・公正である。								
<ul><li>業目的</li><li>事 ホール及</li></ul>	事業 文化施設が適正に管理され、市民が不自由なく利用でき、文化芸術への志向が高まり市民生活水準の向上が図れる。   事業   本一ル及び各室の利用にあたり、設置目的に基づき効率的・効果的に管理運営を行うため指定管理者へ適正な管理運営を委任する。											お 事業効果向上 ・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 生・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携								
<ul><li>必要性準</li><li>実施</li><li>H18年9月</li><li>費用も大き</li></ul>	開 H18年9月から地方自治法の改正に伴う管理委託制度の廃止により指定管理者制度へ移行した。 その後、指定管理者による施設の管理運営が行われているが、H9年の建設以来、四半世紀が経過して施設 内各箇所で老朽化による修繕・補修の必要性が増加してきている。  #18年9月から指定管理者制度へ移行し管理運営を委託しているが、施設の老朽化により修繕すべき箇所が多くなり、 日本 日											指定管理者制度の導入により、経費面で適正に合理的 運営・維持管理がなされているが、施設の維持補修等は る。・数値目標 式・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間								
成利用者の地	指定管理者の運営実績や維持管理も適正であり高い評価を得ている。自主文化事業への取り組みも好評で 利用者の増加にも繋がっている。 各種設備の修繕等により利用者の安全で快適な施設利用が期待できる。										拡充	現状維持		改善		効率化		廃止終了		
建築後世大である。	HK										建築後四半世紀が経性・緊急性を鑑みて計民への快適で有効な利。	過し施設の老朽化により改修の時期がきているため、必要 画的な補修工事、修繕等を行うことにより、トラブルなく市 目が図られる。								

## 令和 <mark>7</mark> 年度 **事務事業マネジメントシート**

	2	令和	7	年度 事	事務事業マ	ネジメント	トシート								作成	作成日 令和 <mark>7 年 7 月 1</mark> 日作成					成			
					担当課 生涯学習課							)指標の推移		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度					
事	務事業名	有明	体育施	設管理事業		担当G 社会教育グループ(有明分室)			Г			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)							
		1,7,	11 13 22	27,71				会計		項	目	備考	1	活動指標(実施状況)	単位	(実績)	(実績)	(実績)						
± +	づくりプラン	100	/ ±h-	ち. ナルト こ. 曲。	かで志あふれる	レベノカトケ	予算科目	1	10	6	2	有明体育施設管理書	-			6	6	6	6	6	6			
	* 本 目 標 )	100		ョ・スルール豆/ 文化のまち	1. CID 80 224 (C)	人うくりと仏	) <del>//</del> /// [D	1	1	ļ			ア	管理体育施設数	箇所	6	6	6						
(4	· /* H /示 /	興	1194 -	Λ <sub>1</sub> Γ <sub>1</sub> ν γ γ γ	-						<b>-</b>			0	0	0								
(個	別 目 標)	月 目 標 ) <mark>計 2</mark> 多様な志を育むまち						需用費・	・役務費・塗	委託料・工	事請負費	・備品購入費	イ											
							主な費目 常用費・役務費・委託料・工事請負費・備品購入費						┡			(	( III LIII )	(   1==	(	/ II LIII \	/ II James \			
(	施 策 )	策 ) <mark>                                    </mark>											成果指標(成果・効果)	単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	) (目標)	(目標)				
		71					対象市民						L			(実績)	(実績)	(実績)						
( 其	(本目標)	□ 目標) 総 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる										ア	市内人口・施設利用者	数人	28, 000	28, 000	28, 000	28, 000	28,000	28, 000				
		合	/22/3/-			、							<b>.</b>	771 17 TO MERCH 1711 E	» ·	40, 169	42,673	40, 458						
(	施 策 )	戦	か出た	施設最適化プロ	ジェカト		事業期間	S	5 48	年度~			1											
(	ルビ 外 /	略   <sup>3</sup>	A > \	心区収拠地にクロ	V 47 1		事 未列间			年度	(	年間)	1											
(1)	総事業費の	##	単位	4年度	5年度	6年度	7年度		8年月	度	(	9年度	14	 )評価	所管課による評価									
(1)	秘事未負 の	田伊	中亚	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予	算) (	計画・	予算)	(計画	画・予算)	(4	7 計1四			から	味による	計画					
年	財 国県支出	出金	千円																					
間事	. 」 よ て の 他 符	定財源	千円	1, 165	1, 165	1, 165	1, 10	65	1	, 165		1, 165	1	・市民のニーズ										
	訳 一般財源	 京	千円	20, 727	21, 207	22, 161	23, 2	58	23	, 258		23, 258	有	・川氏のニース  ・事業の効果	市民の和	可民の利用予約等を電話等で受け付けているが、今後、利 引者の利便性の向上等図る上でも、市内施設のインター								
タ	事業費計	(A)	千円	21,892	22, 372	23, 326	24, 42			, 423		24, 423	効	<ul><li>・政策との整合性</li></ul>										
ル人	所要人員(		人	0, 025	0. 025	0, 025	0, 02			. 025		0, 025	性	<ul><li>事業を廃止の影響</li></ul>	ネット予約システム等の導入も検討の必要がある。松山 志布志3地域の体育施設に同じく施設の管理計画等の検討									
コー件	人件費概算			140	140	140		40		140		140	半/元	・類似事業との連携	志作志3		育施設に	- 回 じく 所	地設の官場	計画等0	)検討か			
スタ	(A) +		千円	22, 032	22, 512	23, 466	24, 50	_	9.1	, 563		24, 563	11111	・公平性	おかれい	D°								
(2) 1	<b>工業概要</b>	(D)	111	22,032	22, 012	20, 400	24, 00	00	24	, 505		24, 505	1											
*業目的 事業内容	市民の体力向上、健康増進、スポーツ活動の推進に寄与する。 有明体育施設(総合体育館、市民グラウンド、野球場、弓道場、B&G海洋プール、農村運動場)の管理運営を 行う事業である。平成19年度から、指定管理者制度を導入し志布志市シルバー人材センターが施設管理を行 う。施設休館日は、月曜日及び年末年始(12/29~1/3)が休館日である。B&Gプールについては、7月から8月										理を行	効率性評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	施設の管理を指定管理者に行わせているため、年間の経費 削減については、管理者にお願いする形であり、施設の改 修等の協議・連携は十分に果たせている。										
必要性	昭和48年に 野球場等整	市民活備され	グラウ れ、そ	ンド、昭和55年 の後の施設の管	Fに総合体育館 管理を行うため	、弓道場、平原 に事業が開始さ	式元年B&Gプ された。	ール、	市民	グラウ	ンド	観覧席、	達成度	<ul><li>数値目標</li><li>・目指す状況</li><li>・実現性</li></ul>	令和3年度から5年間、指定管理契約を締結し、継続して施									
実施状況	平成19年度より指定管理者制度の導入により、指定管理者による管理に移行した。施設の老朽化により修繕 等必要な箇所が増えてきている。										(評価	・情勢、環境の変化 ・事業期間	設管理を	星を委託している。										
成果	13. 黄龙 / 5 直 / 6 重 + 7 大										改革	拡充	現状維持	寺	改善		効率化		廃止終了					
課題	11.11 17 20 11 17 12 1 27 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										改善案	スポーツ予約システムの導入を図り、申請受付の簡略化を					を図る。							

作成日 令和 7 年 日作成 7 (3)指標の推移 担当課 生涯学習課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 事務事業名 (目標) 青少年館管理事業 担当G 社会教育グループ (有明分室) (目標) (日標) (目標) (目標) (目標) 活動指標 (実施状況) 単位 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 5 10 2 公民館書 7 7 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 7 7 ア青少年館 箇所 (基本目標) 統・文化のまち 主な費目 修繕料・役務費・委託料・工事請負費 (個別目標) 多様な志を育むまち (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ( 施 策 ) 成果指標 (成果・効果) 単位 2 社会教育の充実 (実績) (実績) (実績) 対象 有明地区7校区青少年館 6,000 有明地域人口・施設利用 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 (基本目標) 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる 者数 7, 932 10, 232 12, 452 年度~ ( 施 策 3 公共施設最適化プロジェクト 事業期間 年度 ( 年間) 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 (実績・決算) (実績・決算) 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 業 内... 市民のニーズ | 本| 訳 | 一般財源 千円 3, 523 3, 186 3, 186 3,383 3, 523 3, 523 事業の効果 校区コミュニティ協議会の拠点施設としての役割が大き 事業費計 千円 3, 186 3, 186 3, 383 3,523 3,523 3,523 (A) 政策との整合性 く、各校区民の憩いの場としての位置づけであり、廃止は 事業を廃止の影響 人 所要人員(年間) 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 人 厳しい。 類似事業との連携 ス 費 人件費概算 (B) 千円 140 140 140 140 140 140 公平性 (A) + (B) 千円 3, 326 3, 326 3, 523 3 663 3 663 3 663 (2)事業概要 業 事業効果向上 有明地区7校区民の施設利用の充実と、利便性の向上に寄与する。 目 利用許可については青少年館条例に従い許可されており、 • 事業費削減 的 事務の効率化 必要最小限の維持管理費で運営している状況であり、施設 改修等は市と公民館側で充分協議の上で必要性を加味して · 費用対効果 事 財政負担の必要性 実施している。 有明地区7校区青少年館を、指定管理者(校区コミュニティ協議会)による管理を行わせることにより、地域 価 業 ・関係者との連携 の実情に応じた管理がなされ適正かつ円滑な管理が行える。 容 必始 要経 り、施設の設置目的からその管理について地域の活力を積極的に活用することが望ましいため。 性 緯 |平成18年合併当時から指定管理者として管理をを行わせており、校区コミュニティ協議会活動の拠点であ • 数値目標 目指す状況 少子高齢化、自治会未加入者の増加等の問題を抱えてはい 度 実現性 るが、地域の拠点施設としての機能は十分果たされてお 実 り、令和6年から5年間の継続管理契約を継続している。 評・情勢、環境の変化 施 価・事業期間 施設の管理、運営はもとより、施設利用の予約受付、利用状況報告を翌月10日までに提出させている。 狀 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 利用者にとって安全で快適な施設利用が図られている。 |今後、地域コミニティーの推進により組織見直しによる、形態の変化により管理形 宏態の見直し、廃止等も協議が進んでいく可能性もある。 施設老朽化による修繕・改修の必要箇所が増加している。 題

作成日 令和 7 年 7 日作成 (3)指標の推移 担当課 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 生涯学習課 9年度 事務事業名 有明農業歴史資料館・有明開田の里公園管理業務 担当G 社会教育グループ (有明分室) (目標) (目標) (日標) (目標) (目標) (目標) 単位 活動指標 (実施状況) 項 目 備考 (実績) (実績) (実績) 予算科目 5 10 生涯学習推進事 3 3 3 まちづくりプラン <教育・文化>心豊かで志あふれる人づくりと伝 4 3 3 3 ア管理施設数 箇所 (基本目標) 統・文化のまち 3 3 3 主な費目 需用費・役務費・委託料 (個別目標) 3 文化を守り・育み・つなげるまち (目標) (目標) (目標) 伝統文化の保存・継承及び歴史遺産の保存・活 (目標) (目標) (目標) ( 施 策 成果指標 (成果・効果) 単位 (実績) (実績) (実績) 対象 資料館・公園の管理 5,000 5,000 利用者数(農業歴史資料 5,000 5,000 5,000 5,000 (基本目標) 4 魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる。 館) 4,941 5, 469 5,616 年度~ 3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 3,000 利用者数(開田の里公 (施策 3 公共施設最適化プロジェクト 事業期間 1 園) 年度 ( 年間) 3, 350 3, 275 3, 159 4年度 5年度 6年度 7年度 8年度 9年度 単位 (4)評価 (1) 総事業費の推移 所管課による評価 (計画・予算) (実績・決算) (実績・決算) (計画・予算) (計画・予算) (計画・予算 財国県支出金 千円 事源その他特定財源 千円 550 550 550 550 550 550 市民のニーズ 業内. 千円 19,055 17, 576 17, 576 17,876 17,876 17,876 事業の効果 現在、来館及び電話による利用予約受付を行っているが、 事業費計 千円 19,605 18, 126 18, 126 18, 426 18, 426 18, 426 (A) 政策との整合性 今後、利用者の利用促進と利便性の向上を図る意味でも、 インターネット予約システム等の導入の検討が必要であ 人 所要人員(年間) 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 0.025 事業を廃止の影響 類似事業との連携 る。 ス 費 人件費概算 (B) 千円 140 140 140 140 140 140 公平性 (A) + (B) 千円 19, 745 18, 266 18, 266 18, 566 18, 566 18 566 (2)事業概要 業 事業効果向上 有明農業歴史資料館、体験館、伝習道場及び有明開田の里公園の維持、管理を適正に行う。 • 事業費削減 必要最低限の施設維持管理費、人件費等であるので削減は 的 事務の効率化 厳しい所であるが、開田の村管理組合側とも充分協議を行 · 費用対効果 事 いながら施設の管理に取り組んでいる。 偉大な先人たちの開拓精神に立ち返り、過去から現在をみつめ、そして将来を描くことにより「青少年の体 財政負担の必要性 業 験活動の場」、「生きがいづくりの場」、「助け合いの自立自興の場」となるよう人と人の交流の中心的施 ・関係者との連携 設となることを目指す。 容 本施設が完成してから教育委員会で管理してきたが、平成18年9月から指定管理者制度を導入し施設の管理運 • 数値目標 営業務を委託している。 目指す状況 施設設置後15年以上経過しているので、施設の老朽化によ 実現性 る修繕・改修箇所が増加傾向にある。 実 評・情勢、環境の変化 施 価・事業期間 |施設完成から15年以上が経過してきており、あらゆる箇所での修繕・改修等が出てきている。 狀 況 拡充 ○ 現状維持 改善 効率化 廃止終了 |指定管理者である「志布志市開田の村管理組合」側と、密に協議を行いながら施設の健全的な維持管理を行 えている。 インターネットによる予約受付システムの導入の検討。 施設の老朽化により、修繕改修等が増加してきている。